

令和6年度 かな福祉専門学校 学校自己評価の結果報告

本校が介護福祉の専門学校として望ましい教育を行い、地域のニーズに応えているかを確認するために、令和6年度の学校自己評価を実施致しました。

本自己評価については、教職員が前年度までの自己評価結果にとらわれることなく、再点検をした結果となっております。

主に以下の6点について、学校自己評価の結果を報告いたします。

1 学校自己点検・自己評価 確認事項

- (1) 法令・設置基準をクリアーしているか。
- (2) 介護福祉士を養成する専門学校として求められる事項や水準を満たしているか。
- (3) 介護福祉科に対応する専門分野の業界・職種における人材要望（知識・技術・人間性等）に基づく教育を行っているか。
- (4) 介護福祉科の人材育成目標を正しく方向付けているか。
- (5) 教育の到達レベルを明示しているか。
- (6) 明示したレベルに到達させる教育機能を備えているか。

2 実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

3 実施方法

- (1) 学校に学校自己評価委員会を設置し、教職員が連携して評価活動を行う。
評価に当たっては、教職員だけでなく、学生、場合によっては保護者や学校関係者等の意見も取り入れて評価を行う。
- (2) 評価は、学校評価委員会等が作成した評価表（文部科学省学校評価ガイドライン）に基づいて行う。
- (3) 評価結果は、今後の改善策を記した総評を加え、改善できる事柄は直ちに改善する。

4 評価項目の達成及び取組状況

- (1) 教育理念・目標 (取組状況指標平均 3.3)

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
1	本校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.5
2	介護福祉士養成校としての特色を出しているか	3.5
3	社会・経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか	3.3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか	3.0

① 課題

- ・介護を担う人材の減少という状況に対し、より魅力的な本校の将来構想を描き周知する。

- ・コロナ禍を過ぎ、本校の理念・目的・育成人材・特色などが、徐々に行事とおして周知できつつあるが、まだ十分といえない。

② 今後の改善方法

- ・入学式や卒業式などの行事を行っていく中で、学校見学なども盛り込みながら、これまで以上に保護者等に本校の特色を発信していく必要がある。
- ・本校の理念や目的等を学生・保護者、高校訪問等でPR活動していく。

③ 特記事項

- ・本校の理念等は、学生に前期後期のスタート時に担任のオリエンテーションや校長講話等で周知できている。
- ・本校の理念や特色など、パンフレット等で伝達できているが、そのパンフレットも作成から4～5年経過しているため、新規パンフレットの作成が必要である。

(2) 運営 (取組状況指標平均 3.2)

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
5	学校運営方針は明確に定められ、教職員に明示されているか	3.5
6	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.5
7	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.3
8	人事、給与に関する制度は整備されているか	3.0
9	介護業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.8
10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.5
11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.5

① 課題

- ・年度ごとに事業計画を作成し、年度初めに職員に周知して共通理解を図る。
- ・カリキュラムの内容（生活支援技術）の見直しを行う。授業の内容においては、一人では難しい場合もある。

② 今後の改善方法

- ・年度ごとの事業計画の策定とその周知、また、情報システム化の推進を図る。
- ・学生の出席簿のシステム化することで業務の効率化が図られる。

③ 特記事項

- ・教育活動や学生募集に関する情報公開は、今後もホームページ等で発信していく。

(3) 教育活動 (取組状況指標平均 3.2)

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
12	教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.5
13	教育目標、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到	3.5

	達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
14	カリキュラムは体系的に編成されているか	3. 5
15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3. 3
16	介護分野における関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	3. 0
17	介護分野における施設実習等が体系的に位置づけられているか	3. 5
18	授業評価の実施・評価体制はあるか	3. 3
19	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3. 3
20	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3. 3
21	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3. 5
22	介護分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	2. 8
23	介護分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2. 5
24	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2. 3

① 課題

- ・教職員の能力開発のための研修体制が整備されていない状況がある。
- ・教員の授業力、指導力の更なる向上を図る。

② 今後の改善方法

- ・オフジット (offjt) の外部研修に参加し、積極的に能力開発を行っていく必要がある。
- ・学生の実習と授業内容のリンク等を考え、授業科目の見直しを検討する。

③ 特記事項

- ・教員の研究日に自己研鑽に励み、最新の情報を得たり指導力の向上に努めている。
- ・毎年、学生の学力の状況で指導方法を見直している。

(4) 学修成果 (取組状況指標平均 3. 0)

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
25	高い就職率が維持されているか	3. 3
26	卒業試験、各種資格試験取得率の向上が図られているか	3. 5
27	退学率の低減が図られているか	3. 3
28	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2. 5
29	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2. 5

① 課題

- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を目視化する指標の明確なものがない。
- ・在校生の中で就職する意識が低い学生がいる。

② 今後の改善方法

- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価が分かるようなものを作成する。また、学校の広報活動の一環としても、卒業生に積極的に情報発信していく。
- ・就職する意識向上を図り、授業等でも指導していく。また、担当の面談の中でも指導していく。

③ 特記事項

- ・全学生を対象に今年度も就職ガイダンスを地域の施設等参加のもと、2日にわたって開催した。
- ・高校とも早期から連絡を密にして、可能な限りインターンシップを実施していく。

(5) 学生支援 (取組状況指標平均 3.1)

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
30	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.5
31	学生相談に関する体制は整備されているか	3.3
32	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
33	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.5
34	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.0
35	保護者と適切に連携しているか	3.0
36	卒業生への支援体制はあるか	2.5
37	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0
38	高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	2.5

① 課題

- ・就職への情報提供（求人票・各施設のパフレット等）で支援体制を更に充実する。
- ・高校との連携では、本年度もインターンシップが実施できなかったが、コロナ感染も収束しつつあり、次年度以降は実施していく。

② 今後の改善方法

- ・学生の状況に応じ就職等の支援を弾力的に行う。卒業生への連絡支援体制を充実する。
- ・外部講師によるキャリアコンサルティングだけでなく、授業の一環として、就職支援の内容を盛り込んだ講座も検討する。
- ・就職意識向上のため、授業の中で先輩たちの情報や成功していることを話せるよう努める。また、卒業生の就職状況やメリットについて話を聞く機会を作るなど、卒業生との交流を深めていく。

③ 特記事項

- ・リカレント教育の一環として、本校の卒業生に対して、卒業教育、就職支援などを今後、実施していくことも必要である。
- ・本校の卒業生が資格取得できていない方に補講・授業に参加して、資格取得に繋げて行きたい。就職率100%、退学率0%を目指し、学生の支援に努める。

(6) 教育環境 (取組状況指標平均 2.9)

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
39	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.5
40	学外研修、インターシップ等について十分な教育体制を整備しているか	2.8
41	防災に対する体制は整備されているか	3.3

① 課題

- ・施設面については、介護実習室の備品が不十分といえる。特に介護用ベッドについては、全数、高さ調節可能なものとなっていない。
- ・介護実習の教材の備品も旧式になってきている。

② 今後の改善方法

- ・介護用ベッドや他の備品についても順次、最新のものを導入する。(令和3年度に介護用ベッド2台を導入済み。)
- ・実習室の備品を少しでも新しいものに変えていく。

③ 特記事項

- ・OA室のPCは、全てWindows 10で性能上Windows 11へアップグレード不可である。OSのサポート期間(10月までの問題もあるので)PCの購入が必要。
- ・医療的ケアの演習備品(経管栄養モデル人形)を購入したことで、学生たちの学ぶ意欲が高まった。

(7) 学生の受入れ募集 (取組状況指標平均 3.2)

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
42	学生募集活動は、適正に行われているか	3.0
43	学生募集活動において資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.0
44	学納金は妥当なものとなっているか	3.5

① 課題

- ・学生募集は適正に行われているが、まだ多くの学生の受け入れには至っていない。地元を中心に本校の認知度を更に上げていく必要がある。
- ・神川町内でのかな福祉専門学校の認知度を上げる。

② 今後の改善方法

- ・学生募集では、在校生、卒業生のほか、実習先施設においても学校発信に協力をいただき、一人でも多くの募集につなげていく。
- ・オープンキャンパスの回数や実施時期、委託訓練生募集にあたっての広報活動の積極的推進。ホームページをその都度アップデートし、更なる情報発信を実施していく。

③ 特記事項

- ・オープンキャンパス参加者の入学決定率は8割以上である。

(8) 財務 (取組状況指標平均 2.6)

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
45	中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	1.8
46	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.3
47	財務について会計監査が適正に行われているか	3.0
48	財務情報公開の体制整備は出来ているか	3.3

① 課題

- ・現在の学生募集状況では、中長期的に学校の財務は安定しているとは言い難い。学生数が財務に直結するので、まずは、学生数の確保が必須である。

② 今後の改善方法

- ・学生募集について一丸となって取り組む必要がある。各実習施設・公共施設への募集案内の掲示を依頼する。ホームページ等でPR方法を考える。

③ 特記事項

- ・特になし。

(9) 法令等の遵守 (取組状況指標平均 3.2)

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
49	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.3
50	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.8
51	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.0
52	自己評価結果を公開しているか	3.5

① 課題

- ・個人情報に関する保護対策の明文化する費用がある。
- ・学校評価（自己評価・関係者評価）がより充実したものになるよう学校関係者評価委員会と更なる連携を図る。

② 今後の改善方法

- ・個人情報保護対策の明文化（文書化・電子化）しておく必要がある。
- ・自己評価の問題点があれば改善を図っていく。

③ 特記事項

- ・特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献 (取組状況指標平均 3.0)

	評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
		やや不適切・・・2	不適切・・・1
53	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0	
54	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.8	
55	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.3	

① 課題

- ・ 学生に対するボランティア活動の奨励及び支援が不十分である。

② 今後の改善方法

- ・ 学生に対するボランティア活動の積極的推進を図る。各施設や団体等からのボランティア協力依頼を積極的に受け入れ、掲示等で周知、奨励を図る。
- ・ 神川町をはじめ本庄児玉郡市の社会福祉協議会等と連携した事業を実施する。

③ 特記事項

- ・ ボランティア講座や地域における公開講座など積極的に取り組んでいく。
- ・ 神川町社会福祉協議会より依頼のある「絵手紙」作成の協力をしている。